

夏瀬の森

令和七年八月二十五日 第一〇八号
田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

田殿の夏の始まりです



七月十日（宵宮）

猛暑の中、総代

さん方が社殿を装飾し、参道、境内に提灯を吊り、宵宮の準備を整え、夜には神社周辺の交通整理のご奉仕をしてくださいました。敬神婦人会役員の方々も厄除けのちまきや神矢の授与、夜店と競つてのラムネやジュースの販売に汗を流してくださいました。風ひとつない蒸し暑い夜で、した花火屋さん打ち上げ場所周辺に花火をまき、万全の態勢で綺麗な花火を披露してくださいまし



神前式を行い、氣象災害や厄疫から
郷を守りたい。感謝と願いの
祝詞を奏上した。大勢の方
々の支えがあった。夏の祭りで
この

れからどうかお力を賜りますようお願いいたします。

階を照らす新しい提灯

今年、夏祭には三十張の新しい提灯が、石段の両側に吊らせていた。提灯のご奉納は随時、お受けさせていた。代々、神社又は総代までお問い。わせください。一張り五千円で奉納して。けます。正月三が日にご披露です。

A photograph of a wooden staircase leading up to a shrine entrance. The staircase is flanked by white lanterns hanging from the railings. The background shows lush green trees and a traditional Japanese building with a tiled roof. The scene is captured in a slightly grainy, vintage-style photograph.

夏越大祓式（茅の輪神事）



日、七月三十一日、夏越の大祓
 式を執り行い、
 ました。大祓
 詞の宣読後、
 参列者は、
 とりあえずおひ
 (きりぬさ)で
 清め、茅
 の輪をくぐ
 りました。その後、皆様からお預かりした罪穢れを移した人形(ひとがた)は、茅のこもに包んで有田川に流棄し清めました。茅の輪は総代さん

御油燈



温かいご奉仕感謝いたします

氏神様に存分にお力を發揮していただくために、神社は常に清浄に保たねばなりません。四季折々の花

